

# 教育事業別報告書

事業名	教職員スキルアップセミナー
趣 旨	教師にとって指導力を向上させることは重要な責務である。教科指導はもちろん、生活指導や食育も含め、「なすかしの森」での体験活動等を生かした指導法を学び、児童生徒への教育的効果を高める。
期 間	平成26年 8月21日(木)
募集人員 (募集結果)	幼稚園, 小・中学校教員, 教育行政関係者 100名 (幼稚園, 小・中学校教員, 教育行政関係者 87名)
事業の特色	
<p>体験活動を生かした教科学習等の講義・演習をとおして, 集団宿泊学習での活動はもとより、学校現場でも活用できる実践的な指導力を身につけるため、ワークショップ(A～E部会の選択)と全体での講演を実施した。</p> <p>&lt;ワークショップ&gt;</p> <p>A 理科部会 講 師: 国立科学博物館 連携協力課 専門職員 内尾 優子 氏 「化石の標本作り体験と博物館の活用法」</p> <p>B 音楽科部会 講 師: リズムアンサンブル「ウッドライブ」八木 成隆 氏 「心も体も楽しくなるラテン&amp;アフリカンパーカッション」～ハンドパーカッション演奏体験と導入の仕方～</p> <p>C 図画工作科部会 講 師: 福島県もりの案内人県南支部長 棚邊美根子 氏 「子どもの興味関心を高める表現活動～木工クラフト」</p> <p>D 体育科部会 講 師: 日本体操研究所 荒金 幸子 氏 「楽しくからだを動かそう! みんなで踊ろう! 表現ダンス」</p> <p>E レクリエーション部会 講 師: 日本レクリエーション協会 小久保 信幸 氏 「子供との、心と体の距離を近づける遊びの活用について」</p> <p>&lt;講 演&gt;</p> <p>演 題 「学校教育における体験活動の意義と実践課題」 講 師 國學院大學人間開発学部 教授 宮川八岐 氏</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【宮川先生の講演】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【音楽科部会：ラテンパーカッション】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【体育科部会：創作ダンス】</p> </div> </div>	
事業の成果と課題	
<p>事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育現場で活用できる多様なワークショップを実施したことにより、参加者は意欲的に研修を行うことができた。体験活動を中心としたワークショップが大変好評であった。</li> </ul> <p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校の教員にとっては、自分の教科がワークショップにない教員もいるので総合や生徒指導などのワークショップも組み入れていくことが必要である。</li> </ul>	
その他	
<ul style="list-style-type: none"> <li>とても暑い時期なので、扇風機などで対応したが動きのあるワークショップでは熱中症などの心配がある。時期、設備等の見直しを検討したい。</li> </ul>	